

# HCD基礎検定 出題範囲

2023年1月18日

領域	項目	内容	キーワード
1. 理念	1-1 人間中心デザインの理念	人間中心デザインの定義	利用者視点、共創、新しい価値、問題の設定(発見)、解決策の探求(創造)、繰り返すこと、メソッド(プロセスと手法)、マインドセット(心構え、捉え方)
		人間中心デザインのコアコンセプト	利用者視点、共創、新しい価値、問題の設定(発見)、解決策の探求(創造)、繰り返すこと
		人間中心デザインのマインドセット	相手の立場に立って考えられること、人を思いやること、当事者意識を持つこと
	1-2 「デザイン」の概念	デザインの概念の拡大	デザイン
	1-3 関連する考え方	人間中心設計、ISO9241-210、UXデザイン、デザイン思考、サービスデザイン、リーンUX、デザイン経営、アジャイル開発、ソーシャルデザイン、利用時品質、カスタマーエクスペリエンス(CX)、	人間中心設計、ISO9241-210、UXデザイン、デザイン思考、サービスデザイン、リーンUX、デザイン経営、アジャイル開発、ソーシャルデザイン、利用時品質、カスタマーエクスペリエンス(CX)
2. 計画	2-1 人間中心デザインの計画	計画、要求定義、具現化、評価、運用	計画、要求定義、具現化、評価、運用、プロセスの選定/最適化、予算/チーム編成/納期
	2-2 ユーザーの特定	1次ユーザー、2次ユーザー、間接ユーザー、ステークホルダー(関係者)の特定	ペルソナ、1次ユーザー、2次ユーザー、間接ユーザー、ステークホルダー
	2-3 プロセスの選定/最適化	人間中心デザイン適用プロセスの最適化	(プロセスの)テーラリング、(超上流からの)繰り返し
3. 要求定義	3-1 利用状況の把握	ユーザー調査による現状の把握	行動観察、インタビュー、質問紙(アンケート)、定性調査、定量調査
	3-2 理想の利用状況の想定	To-Beの利用状況の想定、理想とするAs-isの想定	カスタマージャーニーマップ(CJM)、サービスブループリント(SBP)、(構造化)シナリオ、To-be、As-is、UXカーブ
	3-3 潜在/本質的要求の把握	ユーザーの本質的要求の把握	タスク分析、KA法、上位下位関係分析、評価グリッド

4. 具現化	3-4 提供価値/要求の定義	ユーザー要求定義	バリュープロポジションキャンバス
	3-5 要求のモデル化	ユーザー要求を構造化/視覚化	ビジネスモデルキャンバス
	4-1 アイデアの創造	発想法	ブレインストーミング、KJ法、参加型デザイン
	4-2 アイデアの視覚化	プロトタイピング	ペーパープロトタイピング、ラピッドプロトタイピング
	4-3 デザイン原則の適用	ガイドライン	デザイン原則、ユーザーインターフェースガイドライン、運用ガイドライン
5. 評価	4-4 情報構造	情報構造のデザイン	サービスブループリント作成、ストーリーボーディング、ワイヤーフレーム
	4-5 インタクションデザイン	インタクションのデザイン	インタクション
6. 運用	5-1 専門家による評価	専門家による評価の目的と意味	インスペクション法
	5-2 利用者による評価	利用者による評価の目的と意味	ユーザービリティテスト
7. 基本知識	6-1 実利用状況の把握	実利用状況を取得することの重要性	実利用状況、リリース後、バージョンアップ
	7-1 情報デザイン	概念、構造(要素)、	UXの5要素(戦略、要求、構造、骨格、表層)
	7-2 人間の特性	人間工学、認知心理学、認知科学、文化人類学	人間の特性(身体、認知、心理、生理)、人間社会、認知バイアス
	7-3 ユーザビリティ	定義、要素、指標、	ISO9241-11(JISZ8521)、ユーザー、利用状況、効果(有効)、効率、満足、目標
	7-4 アクセシビリティ	考え方、ハード/ソフト面、規格	アクセシビリティ、多様性(ダイバーシティ)
	7-5 テクニカルライティング/UXライティング	正しく/わかりやすく伝える技術、優れたUX実現のためのライティング	テクニカルライティング、取扱説明、メッセージ、ガイドダンス、ヘルプ、UXライティング、マイクロコピー、ダークパターン
	8. 背景	8-1 人間中心デザインの拡がり	社会的な背景 行政/自治体等における人間中心デザインの活用事例の紹介
8-2 HCD専門家との連携		HCD-Net認定HCD専門家	専門家との連携、プロジェクトマネジメント